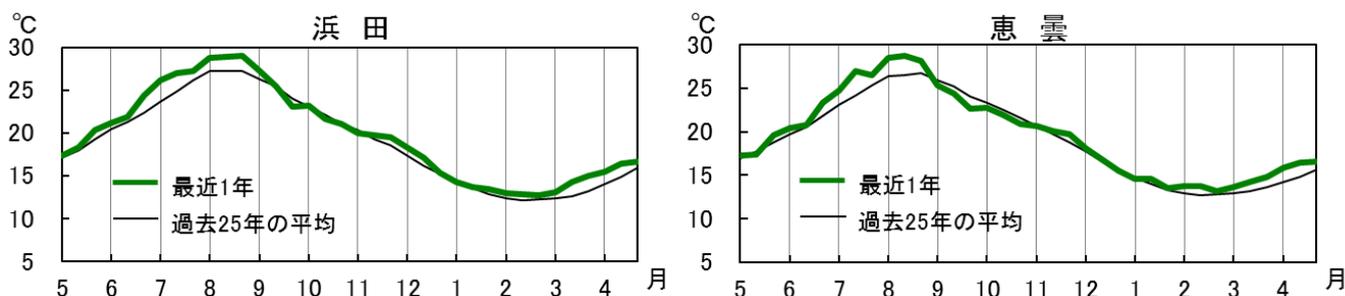




《4月の海況》



4月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	はなはだ高め	16.2°C	+2.1°C	はなはだ高め	16.4°C	+2.0°C
中旬	はなはだ高め			はなはだ高め		
下旬	やや高め			やや高め		



《4月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年並みで、それ以外の魚種は平年を下回りました。隠岐地区ではマイワシ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は104トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは5,438トンで平年の1.6倍、サバ類は3,852トンで平年の2.2倍でした。一方、マアジは48トンで平年の1割以下でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は116.3kgで平年の約4割となりました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は48.0kgと、平年の約8倍の水揚げでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、アカムツを主体に、1統1航海当りの漁獲量は9.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.3倍、ケンサキイカは平年の9割、アカムツは平年の9割でした。その他、マアジは平年の1.2倍と好調でしたが、マトウダイは平年の8割、アナゴ・ハモ類は平年の7割、ソウハチは平年の6割、ムシガレイおよびアンコウ類は平年の4割、スルメイカは平年の3割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ヒレグロ、キダイ主体の漁況で、総漁獲量は169トンでした。1統1航海当りの漁獲量は687kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の4割、ヒレグロは平年の5割、キダイは平年の1.6倍でした。その他、マトウダイは平年の1.3倍、アンコウ類およびニギスは平年の1.0倍、ムシガレイは平年の8割、アカガレイは平年の5割、アナゴ・ハモ類およびアカムツは平年の4割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は16.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の9割、マアジは平年の5割でした。石見地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は6.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の8割、マアジは平年の2割でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は28.4トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.3倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は29.7kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の6割でした。石見地区ではアマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アマダイは平年の9割でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.4kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の5割でした。

【令和5年4月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、サバ類	9,434トン	114%	115%	104トン	106%	133%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	3.4トン	17%	23%	116.3kg	27%	43%
	西郷	スルメイカ	4.4トン	36,767%	169%	48kg	799%	138%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、アカムツ	190トン	78%	70%	9.5トン	66%	65%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ヒレグロ、キダイ	169トン	54%	59%	687 kg	79%	89%
定置網 (大型)	出雲	ブリ・マアジ	193トン	23%	50%	16.1トン	25%	54%
	石見	ブリ・マアジ	19.1トン	108%	50%	6.4トン	145%	55%
	隠岐	ブリ	85.1トン	93%	117%	28.4トン	93%	117%
釣り・縄	出雲	ブリ	25.3トン	101%	57%	29.7kg	129%	83%
	石見	アマダイ	13.1トン	61%	43%	19.5kg	100%	74%
	隠岐	カサゴ・メバル類	9.2トン	49%	38%	18.4kg	89%	61%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ